



# い～ねだより

2024年9月3日

認定NPO法人じゃんけんぽん

企業主導型保育 い～ね保育園

## 基本理念

『たくましく生きる力』

## 保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切にする心を育てます』

『基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域の人とのかかわりやふれあいを大切に、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

## 9月のテーマ

『わくわくをみつけよう!』

## 「小さな友達」

ちょうちょ、ダンゴムシ、アリ、い～ね保育園の園庭には小さな生き物たちがたくさんいます。そして最近、そんな小さなお友達への興味がますます高まってきている子どもたちです！誰かがダンゴムシを探し始めると、1人、また1人とやってきて、子どもたちが肩を寄せ合って虫探しをしている姿はとても可愛い光景です。春にはアリが近づいてくることにさえ「こわい～」と言っていた子ども、今ではダンゴムシを探したい！と保育士を誘ってくれたり、「カニは～？」と以前保育士が近所で見つけたカニを連れてきた時のことをふと思い出して聞いてくれたり、一人ひとりのペースで生き物と触れ合う経験を楽しんでいます。

8月の一番人気はカブト虫でした。オスとメスの2匹を譲っていただき、保育室の虫かごで飼っていました。「カブちゃん」と呼んだり、ゼリーをあげるお手伝いをしてくれたり、かご越しでは物足りず外に出してとリクエストがあり、広い所に出して触ってみたりよく観察してみたり。子どもたちの毎日の楽しみとなりました。

まだ指先の力加減が難しく、時には強く触ってしまう子どもいるのですが、保育士の「そーっとね」の言葉に次に触れる時にはすこーし優しい触り方になっていました。また、かまきりを触ってみたい！でもちょっぴり怖いかも、、、そんな気持ちの時には「おしりのほうなら触っても大丈夫だよ」と声を掛け見守ります。すると、チョンチョンと触れてみて「触れた～!!」ととびっきりの嬉しそうな笑顔。

虫さんそーっと優しく触ってみよう、カブちゃん寝ているから今は見るだけにしよう、とニンゲンとは違う小さな友達とも触れ合う中で、思いやりの気持ちが育っているのを感じます。身の回りの自然に興味や関心を持ち、発見したり、考えたり、やってみたり、そんな経験が子どもたちの感性をより豊かにしていってくれることでしょう。これから涼しくなってくると、また新たな生き物との出会いが子どもたちを待っています。どんな出会いや触れ合いが生まれるのか、わくわく、とても楽しみです。

